



12月定例会 11月30日～12月19日

市民会館で開かれた成人式。新成人の門出を祝う場所もまもなく閉館します。市庁舎の建て替えなど、大手町地区の再編も始まり、新たなスタートを感じます。

主な内容

●議会報告会	2～3	●議会の動き	8
●本会議のあらまし	4	●審議した議案と結果	9
●平成28年中の議会活動	5	●委員会審査	10
●請願審査	5	●一般質問	11～15
●議案の内容	6	●議会報告会・市長から回答	16
●議案質疑・討論	7	●編集後記	16

平成28年

議会報告会を開催

議会報告会の概要

議会基本条例に基づく議会報告会を昨年11月15日にひまわりセンター、郡家コミュニティセンター、飯山市民総合センターで開催し、総計74名のご参加をいただきました。

今回で6回目となる議会報告会は、各常任委員会からの定例会報告と特別委員会の取り組みを報告し、その後、質疑応答と意見交換を行いました。

日ごろの議会の活動状況を知つていただきとともに、ご意見やご提言を議会として直接うかがい、議会審議の活性化につなげてまいります。

開催日	11月15日(火) 午後6時30分		
会場	飯山市民総合センター	郡家コミュニティセンター	ひまわりセンター
参加人数	32人	26人	16人

報告会での主な質疑

ひまわりセンター

Q 丸亀市議会に政務活動費はあるのか。

A 年間24万円で監査を受けて適切に執行している。また、領収証の添付が義務付けられており、収支報告を市HPで公開している。



郡家コミュニティセンター

Q 中讃地域にホールが必要だと思うが、市民会館は建て替



飯山市民総合センター

飯山保健福祉センター

Q 飯山保健福祉センターの入浴料が4倍になつた。なぜか。

A 施設が老朽化し、改修費用が増えている。また、同様施設の利用料と比較して相応の受益者負担をお願いした。



A 様々な課題があり、これらら検討する。皆様も意見を寄せていただきたい。

アンケートの主な意見

- ・ もつとゆっくり説明してはどうか。

- ・ 参加者をもつと増やせるよう工夫すべき。

- ・ 議員と市長を含めた理事者の報告があれば、違いがわから、よりよいと思う。

- ・ 各委員会の説明と関係のない質問や意見が多かつた。

- ・ 意見交換の時間を主にとつてほしい。

- ・ 現在、重点的に取り組んでいることについての説明がほしい。

- ・ 議員の真摯な答弁が聞けてよかったです。

- ・ 説明が短時間でよい。

- ・ 参加者が少なかつたのが残念だった。

- ・ 建設的な意見交換ができるよう仕向けてほしい。

- ・ 参加者が少なかつたのが残念だった。

- ・ 市庁舎整備の方針について、パブリックコメントを十分に反映させてほしい。

- ・ 浜町、通町、富屋町の活性化

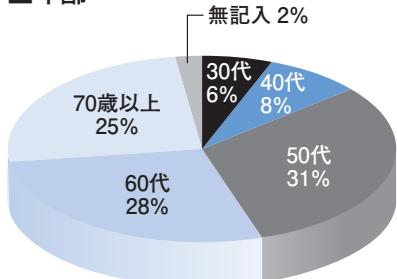
- ・ 飯山保健福祉センターのお風呂の件がよくわかつた。

- ・ 飯山保健福祉センターのお風呂の件がよくわかつた。

各会場のアンケートから

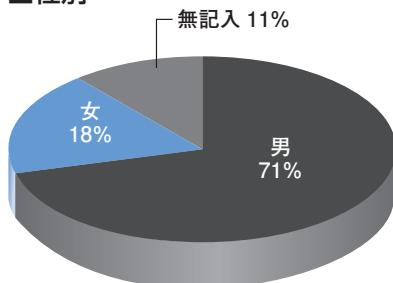
回答総数 61 (回収率: 82.4%) 配布人数 74人 (平均24.7人／会場)

■年齢



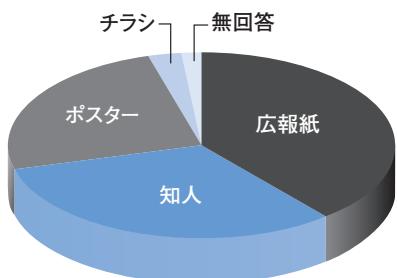
30代	4
40代	5
50代	19
60代	17
70歳以上	15
無記入	1

■性別



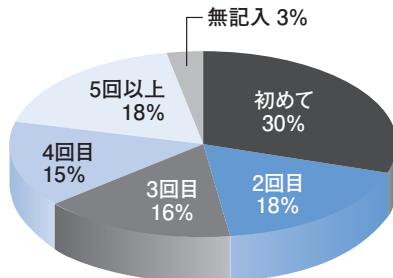
男	43
女	11
無記入	7

■議会報告会を知ったきっかけ (複数回答)



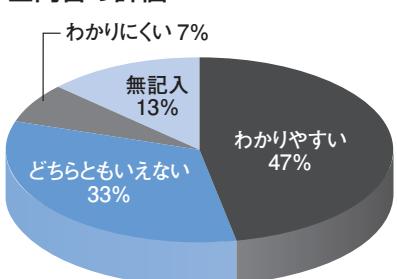
広報紙	27
知人	22
ポスター	17
チラシ	2
無回答	1

■参加回数



初めて	18
2回目	11
3回目	10
4回目	9
5回以上	11
無記入	2

■内容の評価



わかりやすい	29
どちらともいえない	20
わかりにくい	4
無記入	8

アンケートにご協力いただき ありがとうございました

アンケートによると、昨年同様女性の参加者が少ない状況は改善されませんでした。また、50代以上が84%を占め、20代以下の参加者がいないなど、年齢構成も偏っている状況です。

参加回数を見ると、初めての方から以前にも参加したことがある方までバランスが取れているものの、評価について「わかりやすい」と「どちらともいえない」、「わかりにくい」が、同程度あることから、報告内容の精査が求められていることがうかがえます。

以上の結果から、多様な意見をうかがうためにも、開催手法などについて検討を進めてまいります。また、いただいたご意見や要望などは議会で精査し、必要なものは市長に伝えるなど責任を持って対応いたします。



詳細は

丸亀市議会ホームページ
<http://www.city.marugame.lg.jp/>

丸亀市議会

検索



12月定例会

本会議

一般会計補正予算など

原案のとおり可決

本会議の あらまし



小橋議長の年末の挨拶

12月定例会は11月30日から12月19日まで、20日間の会期で開かれました。

初日にまず、請願第3号と第4号を総務委員会に付託し、続いて議案第75号から第95号までを一括議題とし、市長から提案

理由の説明がありました。
12月2日は、議案第75号から第95号までについて1名が質疑を行った後、所管の常任委員会に付託しました。

5～8日は18名が一般質問に立ち、市政全般についてたどりました。

常任委員会は12日に教育民生と都市経済、13日に総務と生活環境委員会が開かれ、議案と請願を審査しました。

19日の最終日は、各常任委員会に付託していた議案と請願の審査結果について、各委員長から議案はすべて原案承認、請願は不採択との報告がありました。

1名から議案に対する反対討論、2名から請願の採択を求める討論、2名から請願の不採択を求める討論があつたことに伴い、同議案と請願を分離して起立により採決し、議案を賛成多数で原案のとおり可決、また、

【連絡先】
丸亀市議会事務局
TEL 24-8828
丸亀市大手町2-3-1



メールアドレス
gikai@city.marugame.lg.jp

議会に関する意見・
感想を募集します。

その後、議員派遣第4号について可決し、恒例の議長からの年末の挨拶と市長からの挨拶があり、今期定例会を閉会しました。



起立採決

本会議インターネット中継!

市議会本会議の生中継と録画配信をしています。

中譜ケーブルテレビの放送もハイビジョン化!

さらに見やすく、いつでも見られる市議会を目指します。

市ホームページ
トップ左列

●丸亀市議会

→ インターネット中継(外部リンク)

クリック

平成28年中の議会活動状況

本会議運営状況				委員会等開催状況					
区分		定例会	臨時会	合計	区分		委員会	協議会等	
招集回数		4	1	5回	常任委員会	総務委員会	4	6	
会期延日数		111	1	112日	教育委員会	3	9		
本会議日数		29	1	30日	市民委員会	4	5		
議案議決内容	原案可決	94	1	95件	都市委員会	4	6		
	原案否決	0	0	0件	生活委員会				
	専決承認	0	2	2件	環境委員会				
	認定その他	6	2	8件	議会改革特別委員会	11			
	計	100	5	105件	市庁舎整備等特別委員会	13			
選挙・選任		2	4	6件	予算決算特別委員会	12			
請陳	願情	4	0	4件	全員協議会	14			
決議・意見書		1	0	1件	議会運営委員会	21			
		3	0	3件	各派報会	12			
					広報会	13			
					その他				

請願審査結果

若者も高齢者も安心できる年金制度の実現のために、「国民年金等改定法案」(公的年金カット法案)を直ちに撤回し、廃案を求める意見書提出に関する請願書

全国年金者組合
丸亀支部長 高木國廣

●請願の要旨

政府は年金給付におけるマクロ経済スライドの徹底・強化と「国民年金等改定法案」(公的年金カット法案)を国会で成立させようとしている。

高齢者の声を真摯に受け止め、老後の生活を保障するため同法案を直ちに撤回し、廃案とすることを求める意見書を関係機関に提出されたい。

「駆けつけ警護」任務を南スイーデン派遣自衛隊に付与する閣議決定撤回を求める意見書提出についての請願

世話人代表 佐々原義幸
ほか1人
丸亀革新懇

●請願の要旨

政府はPKO活動に「駆けつけ警護」任務を盛り込んだ実施計画を閣議決定した。同計画は

憲法に違反した「戦争法」(安全保障関連2法)に基づくもので、自衛隊員が「殺し、殺される」事態になると強く危惧する。よって、自衛隊員の「駆けつけ警護」任務の閣議決定撤回を求める意見書を関係機関に提出されたい。

●本会議での審査結果

採択を求める討論

藤田伸二 尾崎淳一郎

不採択を求める討論

三宅真弓

●本会議での審査結果

採択を求める討論

藤田伸二 尾崎淳一郎

不採択を求める討論

多田光廣

議案に対する
質疑



飯山図書館の窓口

三木まり
 ①一般会計補正予算（図書館窓口等運営業務委託料、母子家庭等高等職業訓練促進給付金、美術館施設整備費）
 太字の項目は要約文を掲載

質問者・項目

A 教育部長 業務内容や教育機関としての機能、良質なサービス提供などの観点と継続性や安定性、競争性などを総合的に判断した結果、3年間の業務委託が適当であると判断した。

業者選定に当たり、図書館運営実績がある業者による指名型

プロポーザル方式の入札を採用し、司書資格者を一定数以上勤務させることを条件とした。ま

た、司書の専門的な知識を生かし、さらに質の高いサービスを提供するために、県立図書館の研修や県教委の読み聞かせ講習会への参加など、さまざまな機会を活用して人材を育成する。

図書館窓口委託行政の責務は

Q 三木議員 綾歌と飯山の図書館窓口業務委託を一括して3年と設定した理由は。また、業務委託を続けることと行政の責任

である図書館行政に必要な人材の育成についてどのように考えているのか。

討論

議案に対する討論
賛成×反対の意見を表明します。



となど、総合的に判断して請願に反対。

《採択を求める討論》

藤田伸二、尾崎淳一郎

理由 駆けつけ警護とは、極めて限定的な場面で、自衛隊の能力の範囲内で行うものであるこ

議案に対する討論

①議案第75号 一般会計補正予算（綾歌図書館及び飯山図書館窓口等運営業務委託料）②議案第82号 市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正、議案第83号 モーターボート競走事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部改正、議案第84号 市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

理由 生存権を保障した年金を給付することは政府の責任であるため、請願に賛成。

《不採択を求める討論》
三宅真弓

理由 国民年金制度を維持するために年金改定法案に賛成することから請願に反対。

《採択を求める討論》

藤田伸二、尾崎淳一郎

理由 生存権を保障した年金を給付することは政府の責任であるため、請願に賛成。

《不採択を求める討論》
多田光廣

理由 駆けつけ警護とは、極めて限定的な場面で、自衛隊の能力の範囲内で行うものであるこ

となど、総合的に判断して請願に反対。

議案に対する討論

①議案第75号 一般会計補正予算（綾歌図書館及び飯山図書館窓口等運営業務委託料）②議案第82号 市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正、議案第83号 モーターボート競走事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部改正、議案第84号 市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

理由 生存権を保障した年金を給付することは政府の責任であるため、請願に賛成。

《反対討論》
尾崎淳一郎

理由 ①図書館協議会から直営を基本とするよう答申されてい

るにも関わらず、委託を基本とした補正に反対。②市長や特別職、議員の給料や報酬などは報酬審議会に諮って決めるという道筋があるにもかかわらず、期末当人事院勧告にのみ準拠して引き上げることに反対。

議会の動き

10 · 11 · 12月

10月

- | | |
|-----|--------------------------------|
| 3日 | 予算決算特別委員会
全員協議会
総務委員会協議会 |
| 5日 | 生活環境委員会協議会
教育民生委員会協議会 |
| 6日 | 議会運営委員会
市庁舎整備等特別委員会 |
| 11日 | 全員協議会
市庁舎整備等特別委員会 |
| 14日 | 広報広聴委員会 |
| 17日 | 市庁舎整備等特別委員会 |
| 26日 | 議会改革特別委員会 |
| 27日 | 教育民生委員会協議会 |
| 28日 | 市庁舎整備等特別委員会 |

11月

- 1日 広報広聴委員会
2日 市庁舎整備等特別委員会
4日 議会運営委員会
15日 議会報告会
21日 各派会長会
議会運営委員会
22日 総務委員会協議会
25日 広報広聴委員会
28日 議会改革特別委員会
30日 定例会初日(12月19日まで)
全員協議会

12月

- | | |
|-----|--|
| 8日 | 広報広聴委員会 |
| 9日 | 議会改革特別委員会 |
| 12日 | 教育民生委員会
教育民生委員会協議会
都市経済委員会
都市経済委員会協議会 |
| 13日 | 総務委員会
総務委員会協議会
生活環境委員会
生活環境委員会協議会 |
| 19日 | 全員協議会 |
| 20日 | 市庁舎整備等特別委員会 |
| 22日 | 総務委員会協議会 |

平成28年12月定例会
審議した議案とその結果

議案番号	議案第75号	議案第76号	議案第77号	議案第78号	議案第79号	議案第80号	議案第81号	議案第82号	議案第83号	議案第84号	議案第85号	議案第86号	議案第87号	議案第88号
議員名 ＼審議結果	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決
1 川田 匡文	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2 真鍋 順穂	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3 松永 恭二	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5 水本 徹雄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6 佐野 大輔	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7 神田 泰孝	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8 多田 光廣	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9 小橋 清信	議長のため採決に参加せず													
10 山本 直久	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11 岡田 剛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12 大前 誠治	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13 三宅 真弓	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14 中谷真裕美	●	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○
15 尾崎淳一郎	●	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○
16 加藤 正員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17 藤田 伸二	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19 高木 新仁	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20 三谷 節三	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21 福部 正人	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22 内田 俊英	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23 国方 功夫	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24 片山 圭之	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25 松浦 正武	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26 横川 重行	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27 三木 まり	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成、●：反対 ーは除斥または欠席した者です。

委員会審査

一般会計補正予算など

各委員会で原案承認

本会議で各常任委員会に付託された議案は、12日に教育民生と都市経済、13日に総務と生活環境委員会が開かれ、市長や副市長、担当部課長などが出席し、審査しました。

主な質疑は次のとおりです。

教育民生委員会

主な質疑

- 美術館の非常用放送設備を修繕とせず更新とする理由は
- 質疑の後、討論はなく、委員会に付託された案件はすべて原案のとおり承認しました。

都市経済委員会

主な質疑

- 臨時福祉給付金の支給時期はいつからか
- 地域密着型介護予防サービス給付費の増額補正の内容と今後の対応は

生活環境委員会

主な質疑

- 青い鳥教室の支援員補充の見通しと支援員が辞めた場合の確保は
- 綾歌図書館と飯山図書館の窓口等運営業務委託料の内訳は
- 母子家庭等自立支援給付事業の制度周知はどのようにしてい るのか
- 飯山南コミュニティ協議会が指定管理者に選定された理由を
- なぜ今、旧消防庁舎敷地を国



飯山市民総合センター別館

から取得しなければならないのか

○土地取得金額1260万円の根拠は

○美術館の非常用放送設備を修繕とせず更新とする理由は

○質疑の後、討論はなく、委員会に付託された案件はすべて原案のとおり承認しました。

総務委員会

主な質疑

- 飯山市民総合センター別館の今後の方針は
- 外壁爆裂の危険度や緊急性が

質疑の後、討論はなく、委員会に付託された案件はすべて原案のとおり承認しました。

質疑の後、請願の採択を求める討論と不採択を求める討論があり、採決の結果、請願を不採択に、議案はすべて原案のとおり承認しました。

高かつた場合には、予備費で対応したのか

○ネット敷設後のランニングコストは

○どのような医薬品が医療費控除の特例適用になるのか

○当初予算段階で職員数を正確に把握することはできないのか

○一般任期付職員と特定任期付職員の違いは

○ボートレースへの呼称変更に伴う経費はどの程度か

議会だより

一般質問 質問者・項目

藤田 伸一

太字の項目は本文中に要約文を掲載

川田 匡文

①学校教育サポート室の現状
と今後の課題②通学路③新市民会館

用促進②畜産振興

多田 光廣

①空き家対策②耐震対策③農業振興

①職員の長時間残業の規制②税申告時のマイナンバー記載義務化への対応③ふるさと納税に対する返礼の見直し④下水汚泥の堆肥化

国方 功夫

①アクティブ・ラーニング（授業改革）についての見解②御殿屋敷の復元③職員基本条例④本市下水道管の老朽化と市道の空洞の実態

三宅 真弓

①日曜市②行政財産の目的外使用③スペース114「ひだまり」の今後の考え方④消防出初式⑤香川丸亀ハーフマラソン大会でのさぬきうどん無料配布

①空き家対策②介護保険「総合事業」

①子ども命に関連して②図書館行政に関連して③学校給食に関連して

川田議員 丸亀駅周辺の活性化と経済効果を期待し、新市民会館建設について、駅周辺が福島町の市有地を候補地とすることは可能か。

三谷 節三
①介護保険制度改定関連②丸亀城石垣の耐震化

真鍋 順穂

①不成立に終わった新県立体育馆の誘致②飯山総合保健福祉センター入浴施設のより良き運営③いじめ問題の根絶

神田 泰孝

①図書館②ボートレースまるがめの仕掛け③職員の名札を活用した本市PR策

①子ども命に関連して②図書館行政に関連して③学校給食に関連して

中谷真裕美

①安心できる介護予防・日常生活支援総合事業に②水道広域化の協議のあり方

佐野 大輔

①高齢者の自動車交通②飯山・綾歌市民総合センター

尾崎淳一郎

①教育行政について②福祉行政について

内田 俊英

①市民ファーストの観点から

アクセス改善対策②不用品（お宝）再利用の促進③本市島よしょ部が抱える課題への対処④（仮称）丸亀市民賞などの創設

松浦 正武

①交通事故対策と公共交通利導入

ご案内

次回の定例会は
2月下旬に開会
予定です。

市民会館建設で駅北部の活性化を

A 市長 新市民会館を丸亀駅周辺に建設する場合、交通の利便性や駅地下駐車場を有効活用できるなど、駅周辺を活性化させる可能性を秘めた計画ができるのではないかと考えるが、沿岸部であることによる自然災害リスクや福島駅駐車場の廃止、敷地形状による制約などの課題もある。

建設候補地の一つとして駅北側から総合的に決定したい。部を検討したいが、複数の候補

子供たちのために 予防接種助成を

■ 横川議員 児童・生徒のインフルエンザ予防接種について、費用の一部だけでも補助することはできないか。

▲ 教育部長 予防接種法では、インフルエンザについては65歳以上など限られた対象者のみ定期接種とされていることから補助しているが、子供たちについてはBCGや日本脳炎ワクチンを定期接種とする一方、インフルエンザを任意接種としているため、本市では補助対象としていない。子供たちへのインフルエンザ予防接種への助成は、国、県、他市町などの動向を踏まえ、本市の保健担当部などとも協議したい。

お城の石垣 現状のまま耐震を

■ 三谷議員 現状の丸亀城石垣は、どの程度の地震で崩壊するのか。計画的に積み直すのではなく、現状のまま補強、耐震化できないものか。



丸亀城石垣

▲ 教育部長 丸亀城の石垣は高い強度と耐震性があると考えられるが、大規模地震が発生した場合、毀損が進行している石垣は崩落するおそれがある。最近の調査では、新たな毀損箇所が発見されたため、慎重に対応しなければならない。

今後、情報収集に努め、従来の復元手法だけでなく、経費面も含め、石垣崩落対策や維持管理の方法を探り、後世へ丸亀城を守り、伝えたい。

飯山入浴施設 今後も存続を

■ 真鍋議員 飯山保健福祉セン



飯山総合保健福祉センター

タ一入浴施設の改修工事には多額の経費が掛かったが、今後も入浴施設を存続するための長寿化工事と理解してよいか。

▲ 健康福祉部長 高齢者に憩いの場として利用していただき、元気な市民を増やすことを目的に、満60歳以上を対象に入浴施設を運営してきた。

今回の浴室天井改修工事は、今後も同施設を廃止せず存続するための手段であり、長寿命化の一環でもある。

今後も本施設の設置目的である市民の健康増進と福祉の向上を図るため、できるだけ存続していきたい。

▲ 市長公室長 合併10周年記念式典の中で、市政に尽力された方を市政功労者、各界功労者として表彰した。

昨年3月の市功労者表彰条例と同規則の改正で、より多くの方が表彰対象となり、表彰者の選考方法を工夫することで、提案の「市民賞」の趣旨に近づけるものと考えている。

本表彰制度が未来の丸亀を担う優れた人材を育てる有効な取り組みとなるよう、さらに検討したい。

交通事故防止 市の取り組みは

■ 松浦議員 交通死亡事故が続発しているが、本市ではどのような事故防止の取り組みを行っているのか。

丸亀市民賞創設で 地域活性化を

■ 水本議員 丸亀の活性化や市民の地元貢献を奨励する「丸亀市民賞」を創設し、丸亀の活性化につなげてはどうか。

▲ 市長公室長 合併10周年記念式典の中で、市政に尽力された方を市政功労者、各界功労者として表彰した。

昨年3月の市功労者表彰条例と同規則の改正で、より多くの方が表彰対象となり、表彰者の選考方法を工夫することで、提案の「市民賞」の趣旨に近づけるものと考えている。

本表彰制度が未来の丸亀を担う優れた人材を育てる有効な取り組みとなるよう、さらに検討したい。

連続的かつ集中的に発生しており、危機的な状況にある。

本市では事故防止の取り組みとして、市内の事故状況を分析し、反射材の普及啓発に重点を置き、高齢者に反射たすきや靴のかかとに貼付する反射材を配布し、自分の身を守る対策を学んでいただいている。

また、県警の「人も車も見る見せる運動」とも連携し、反射材やライトの携行を強く訴えている。

危険空き家除却 補助金の状況は

Q 多田議員 老朽危険空き家除却に対する補助金の申請状況と交付状況、今後の緊急物件への対応は。

中心市街地 憩いの場存続を

A 生活環境部長 今年度は72件の補助申請があり、そのうち51件が補助要件を満たしていた。老朽危険度が高いものから交付決定し、今年度は24件の予定である。残りの27件は次年度以降、優先的に可能な限り対応したいと考えている。苦情が寄せられている緊急物件については、所有者に補助制

度があることを説明し、除却を促している。今後も情報収集に努め、地域住民の生活環境保全に努める。



市内に点在する空き家

四銀行の建物を借りて運営されているが、耐震性の問題もあり、所有者に返還することとなつた。「ひだまり」の存続には、場所の確保や運営経費の調整などの課題があり、簡単に解決できないと考えるが、高齢者の憩いの場となつていることは認識しており、存続に向けて最大限努力したい。



閉館したスペース114

ボートレース場 物産展で集客を

Q 神田議員 ボートレース場は立地面の条件がよく、様々な活動

A 競艇事業局長 丸亀ボートでは戦略の柱の一つとして本場活性化を掲げており、ゆかりの地の物産展開催は多くのお客様に来場いただくチャンスと考えている。そこで来年度は、近隣ボートレース場相互の物産展を順次計画している。今後も音楽、アート、季節などをテーマとした各種イベントや物産展を通じて、本場活性化に努めたい。



ボートレース丸亀

水道広域化 本市の水源を守れ



存続を申し入れた飯野水源地

中谷議員 県下水道一元化計画では、市内の浄水場が8か所から3か所に減らされようとしているが、渇水や災害時には自己水源が必要である。特に、自己水源全廃になっている綾歌・飯山地区の計画は見直すよう強く求める。

A 水道部長 広域事業開始後、整理統合される予定の浄水場など5施設のうち、水質が良好で安定的に取水できる水源は予備水源とする方向で準備協議会で検討している。

福部議員 豪雨の際に浸水のおそれのある高架下地下道などの危険箇所を、ハザードマップやホームページなどで周知するとともに、現場の浸水状況が分かるように照明の設置などの対策を取る考えは。

A 市長 本市には浸水のおそれのある地下道が5か所あり、一部ではポンプを用いた排水対策を行っている。特に浸水の起こりやすい塩屋町、中津町のJR高架下2か所は洪水ハザードマップに記載している。残る3か所も看板設置や照明施設の点検による現場対策のほか、ホームページなどによる周知啓発を考えている。

ふるさと納税 運用の見直しは

豪雨災害

危険箇所の対策を

飯山・綾歌の施設を予備水源として残していくことは、準備協議会の中で本市から申し入れをしている。

A 市長 所得税法などで規定された寄附金控除を行政がしないよう指示することはできな。また、市民への返礼品を贈呈する自治体は全国にも多く、住民税が非課税でも寄附してくださるなど、本市の役に立ったいと思う市民も大勢おり、その善意に対し返礼品を贈呈している。

今後も、制度を通じて地域活性化の一助となるよう、ふるさと納税の本来の意義に則した寄附を募りたい。

相次ぐ職員不祥事
対策に条例制定は

市民への影響は 変わる介護保険

加藤議員 来年度から始まる介護保険の「総合事業」は、従前と比べて何が変わるのか。また、市民への影響として、サービス低下や利用者の負担が増えることはあるのか。

Q 国方議員 職員の不祥事が多発し、倫理が問われている。職員基本条例を作る考えは。

A 市長公室長 公務員は全体の奉仕者として業務を遂行する必要があり、本市では現在、地方公務員法を職員管理の基準に、その範囲内で個別に条例・規則を定めて運用している。同法の

から、ふるさと納税として市民が本市に寄附した場合、返礼品の贈呈か寄附金控除かの選択制にすべきではないか。

A 市長 所得税法などで規定された寄附金控除を行政がしないよう指示することはできな。また、市民への返礼品を贈呈する自治体は全国にも多く、住民税が非課税でも寄附してくださるなど、本市の役に立ったいと思う市民も大勢おり、その善意に対し返礼品を贈呈している。

趣旨に抵触しない範囲で、自治権を明確にするための条例・規則ではあるが、自治権の行使には、市民から信頼される自治体を目指し、厳格に対応する。

今後、条例制定については他の動向を注視し、時代の潮流に取り残されないよう情報収集に努める。

いじめ問題に

学校の対応は

Q 三木議員 学校でいじめが見過ごされた場合、本市ではどのようないじめ・対応となるのか。

A 教育長 いじめは、大人の目につきにくい場所や時間に行われるなど、学校での発見が難しい場合もあるため、実態の把握には周囲の児童・生徒や保護者からの情報が重要となる。そこで、いじめに関するアンケートに、他の児童・生徒に関する記述欄を設けたり、いじめの情報を保護者も投かんできるポストを設置したりする学校もある。このほか、地域や関係機関などからの情報提供も重要であるため、内外にアンテナを伸ばし情報収集に努めている。

市民総合センター

名称変更の考えは



飯山市民総合センター

国の社会保障施策

市の見解は

Q 尾崎議員 国で生活保護費改

る考えは。

A 総務部長 合併時に設置された綾歌・飯山の両市民総合センターは、地域密着型の住民サービスに努めた結果、今では、旧丸亀地域からの来庁者も増え、旧名称も含めて認知度は浸透したと考えている。

このため、名称を改めるよりも、全市民にとって、より身近な行政窓口として利用できるよう、より一層の工夫をしたいと考えている。



生活保護相談窓口は福祉課

定が議論されている。現状からの引き下げは、生存権を保障した憲法第25条に違反すると考えるが、本市の見解は。

A 健康福祉部長 生活保護制度は憲法第25条で規定された生存権を保障し、生活困窮者を適切に支援する最後のセーフティネットであるが、国民の理解を得るには社会的公平性の確保は重要であり、社会の実態に合わせた適正化はやむを得ないと考え。しかし、本制度が保障する最低限度の生活は、健康で文化的な生活水準を維持できるものでなければならぬという基本的な考えは変わらない

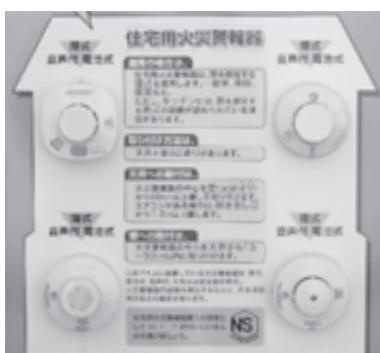
火災警報器普及

意識改革が鍵

Q 内田議員 火災における死亡原因の6割が逃げ遅れによるものとのデータがある中、住宅用火災警報器は命を守る必須アイテムの一つである。本市の警報器設置率は全国平均よりも低く、対策を講ずるべきでは。

A 消防長 本市の警報器設置率が低いのは、アンケート結果などから市民の火災予防への意識の希薄さが主な理由であると考える。このため、一般家庭への設置点検指導を増やすなどのほかに、来年度はパンフレットを全戸に配布する予定である。

今後も、火災を未然に防止することとあわせ、当面は設置率70%を目指取り組む。



住宅用火災警報器

Q 佐野議員 転入者・転居者について現在の市民総合センターという名称は、市役所機能を有する施設と理解しにくい。この際、わかりやすい名称へ変更す

みんなの声を市長へ届けました

会計検査院などで指摘された事項は、速やかに議会へ報告すること

【回答】秘書広報課

補助金などの返還が発生するような場合、直ちに報告する。

瀬戸芸と本市の芸術・文化を連動させ、本市の注目度を上げること。

【回答】文化観光課

各種おもてなしや「ART SETOUCHI」事業を通年事業として積極的に取り組む。

ボートレースまるがめに若い世代の来場者を増やすこと。

【回答】競艇事業局

各世代や季節に合わせたイベントの開催など、積極的なPR活動で来場促進を図る。

議会報告会

執行部からの回答



長期的なビジョンで(区割りなど)中心市街地の新しいまちづくりを進めること。

【回答】都市計画課

立地適正化計画を通じて長期的なビジョンを示し、エリアごとの施策を検討する。

子供が遊べる公園をもつと整備すること。

【回答】都市計画課

既存の公園の機能充実と地域的な偏り改善のために整備を検討する。

報告会でいただいたご意見のうち、市へ伝えるとしたものについて市長から回答がありました(市議会ホームページに全文を掲載)。

今後も議会に対する忌憚のないご意見をよろしくお願いします。

まちづくり研究チーム「ヒトコマ」の活動を広く市民に知らせること。

【回答】政策課

HPや広報紙などを通じてPRする。

歩道の整備とため池の堤とうを歩けるように整備すること。

【回答】建設課

順次、歩道整備を進めているが、堤とうの整備には課題も多く、直ちには難しい。

遊歩道から丸亀城に目を向けると、これまで見えていなかつた近々改修工事が始まる西側城壁を遠望できます。また、丸亀城は紅葉が大変きれいで、歩いて景色眺めると、緩やかに変化する景色を楽しむことができます。

資料館が現在改修中ですが、しばらくすると自動ドアやエレベーター、最新式トイレの整備など、利便性を向上してリニューアルオープンします。

丸亀城の北側、大手町地区周辺も市庁舎の建て替え計画が着々と進められています。

市民の皆様から託された期待に応えるために、少しづつ変化する丸亀の風景です。

丸亀城内を散歩すると城内グラウンドだったところに西回りの大きな遊歩道ができていて、多くの市民の皆様が散策やウォーキングをしています。

変わりつつある 丸亀の風景

編集後記